

回 覧

しばたまち交流ひろば

ゆる。ぷら倶楽部  11月 

2014.11.1 ニュースレター第 52 号



みんなで飾って!!

クリスマス 

クリスマスにちなんだ手作り作品を募集しています！  
皆さんの作品でゆる。ぷらをクリスマス一色にしてください！お問合せだけでもお気軽にどうぞ♪

● 展示期間： **12月17日(水)~25日(木)**

※募集期限は 12月14日(日)まで！

※作品数などをご相談させていただきますので  
是非お早目のご連絡をお待ちしております！



体験レポート!

『陶芸』9月21日【2回目:仕上げ】10月11日【3回目:釉掛け】



高台を削り出したたり形を整える仕上げの工程



完成が楽しみ!



好みの色の釉をかけます。



本焼きの工程を経て完成までは講師の太田先生にお任せです。完成が待ち遠しいですね！楽しみです！



焦らず丁寧に...緊張の一瞬!



# 地域づくり支援員レポート

まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）を拠点に地域支援活動をしている「地域づくり支援員」。その地域づくり支援員からの巡回レポートです。

## 【年に一番の地域の賑わい！ ～夏祭りの取材レポート～】

### 今回紹介した行政区



今年も地域住民交流の場となる「夏祭り」や「盆踊り大会」が町内各地で開かれました。地域が最も賑わい、また地域の特色がでる行事であることから、今回の取材を実施しました。

5つの地区を取材させていただきましたが、どの会場でも子ども達が祭りの主役となり、子ども会・育成会、婦人防火クラブ等のお母さん方が裏方として大活躍でした。また、夏祭りの楽しみでもある抽選会では豪華商品が用意され、当選番号が読み上げられる度に大きな歓声やため息が漏れていました。

### 1. 第7B行政区「第20回7B区夏祭り」 平成26年8月2日（土）

節目となる20回目の夏祭りを祝うかのように晴天となり、会場のやぐらには第7B行政区がスローガンとする「おもいやりあふれる地域」の文字が掲げられていました。

開始時間が近づくにつれ浴衣姿の女性が増え祭りのムードは徐々に高まり、軒を連ねる出店では大粒の汗を拭いながら力仕事の焼きそば作りに奮闘するお父さんの姿がありました。祭りは復活を願っての「樅の木音頭」でスタート、その後も大勢の方が踊りの輪に加わり賑わいは続きました。



スコップ三味線の演奏

### 2. 入間田地区「N・Cいりまだ夏祭り」 平成26年8月9日（土）

入間田地区の四つの行政区が合同で行う夏祭りは、天候の悪化を見越し農村環境改善センター体育館での開催に場所を変更しました。会場脇に設けられた出店は、たくさん子ども達に囲まれ役員の方々が忙しく立ち回っていました。館内では、ゲーム、カラオケ大会が行われ、屋外で出店を楽しんでいた皆さんは盆踊りの曲が流れると屋内に戻り踊りの輪に加わっていました。

多くの若いご家族の参加があり、地域づくりの今後の担い手として活躍が期待されます。



悪天候により体育館での盆踊りとなりました

次のページへ続く

## 前のページより

**3. 第11D行政区「夏祭り」 平成26年8月10日（日）**

あいにくの雨で集会所内での夏祭りとなりましたが、第11D行政区では、毎年ステージ発表がかなり充実しているとあって、用意された椅子は地域の皆さんで埋め尽くされました。民謡愛好会会員とプロ歌手による民謡、日本舞踊、浅野区会長さんも自ら歌を披露し、地区の皆さんからの声援と歓声で、蒸し暑い中でも大変な盛り上がりとなりました。来年は星空の下で、夏祭りが更に盛大に行われることを祈ります。



熱気あふれる会場

**4. 第18A行政区「四日市場沖盆踊り大会」 平成26年8月13日（水）**

盆踊り大会を前に、開催を案内する広報車が巡回、集会所前の広場は大勢の人で埋め尽くされました。会場には子ども達が描いた手づくりポスターが並び夏祭りの雰囲気演出していました。

岡崎区長の「ご先祖さんの供養、五穀豊穰に感謝、区民の親睦促進、地域の安全安心の祈願を心に大いに踊って下さい」との挨拶があり盆踊りが始まりました。参加者の半数以上は子ども達で、笑顔いっぱいの盆踊りでした。出店での買い物や抽選会では主役となり、子どもたちの楽しい思い出となったことでしょう。



本当に子どもが多い盆踊りでした

**5. 第12B行政区「第17回夏祭り」 平成26年8月16日（土）**

時折小雨が降る天候でしたが大勢の人出で賑わい、スタッフも揃いの法被の着用で祭りの雰囲気を盛り上げていました。

他会場ではあまり見掛けないお年寄りや幼児連れのお母さん用に椅子が並べられ、一人でも多くの方が参加してほしいとの思いが伝わりました。お年寄りの談笑があり、世代を超えた交流や旧友を温め合う様子が多く見受けられました。



子ども達も揃いの法被で踊りを披露

区長さん、地区役員さん、ボランティアの皆さんは地域コミュニティを保つためにご尽力されていること、地域の子供達が「自分たちの祭り」として楽しんでいることを、あらためて実感しました。帰り際にご年配の女性が「ここに来てよかった。元気なエネルギーをたくさん貰って帰ります」と喜んでおられたことが印象的でした。

地域の元気の象徴ともいえる「夏祭り」、「盆踊り大会」が次の世代へと代々受け継がれて行くことを願うものです。

## ナイス Smile(笑顔)賞



各分野で一生懸命活動されている方、頑張っている方などにお話を聞き、その笑顔を広めていくナイス Smile(笑顔)賞。今回は、仙南に多い「半澤」「小原」姓に関する研究や、ハーモニカ演奏による慰問活動など、多岐にわたって活躍する半澤秀雄さんを紹介합니다。

### 半澤 秀雄さん(30区)



——名字研究についての新しい本を自費出版されました  
はじめから出版の構想があった訳ではないのです。もともと歴史的な事柄への関心があって、自分の姓である半澤と、出身地白石市小原の地名姓である小原という身近な名字を調べ始め、広がった結果ですね。

——前著は河北新報にも紹介されました。反響は？

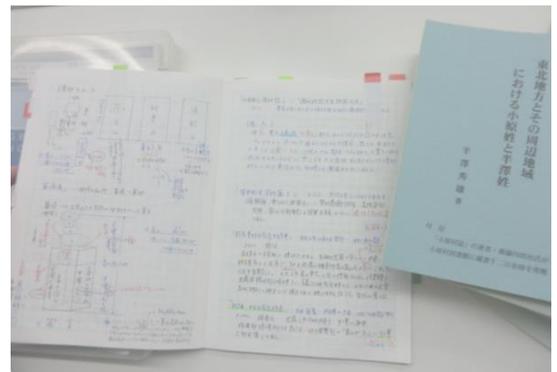
自費出版し頒布した残りが50冊程ありましたが、多数の方から問い合わせがあり、最後は少し足りないくらいでした。町内や近隣市町はもとより、遠くは北海道・青森・東京・神奈川などからも、これらの名字の方から本を求められ、知り合いが50人以上増えました。手紙でのやりとりが続くなど、交流に繋がったことがうれしいですね。「うちの先祖もきっと喜んでいる」なんて声を頂くと、調べていて良かったなと思います。

——姓を切り口に、遠方の人と新たに交流が生まれるのは素晴らしいことですね。

自分の名字というものは身近ですから、興味のある方も多いのだと思います。町内にもこれらの姓の方は数十軒いらっしゃいますが、これがご縁で知り合った相手もいます。名字研究以外にも多くの場へ顔を出すようにしていますが、新しい縁や交流はとても大事だと思うのです。

——なるほど。慰問活動などを通じた交流もされているとか。

老人ホームで働いた経験があるのですが、年をとって閉じこもりがちになり、体調を崩してしまう人を見てきたんですね。その時に入所者の方々と仲良くするためにハーモニカ演奏をしていました。若い頃に少し演奏して以来のことでしたが、これが元になり現在も施設を訪問して、ハーモニカ演奏の慰問活動をしています。自身も年を重ねた今、受け身でなく積極的に人と交流を図りたいとの気持ちがあります。



調査ノートと近著

——「交流」が活動のキーワードなのですね。

今は老人クラブなどに加入し、地元西住での諸活動になるべく参加したり、町内外で活動するボランティアグループに所属して西住以外の人々と交流するなど、積極的に外へ出るよう心がけています。場合によっては加入したばかりですぐに役を務めることもあります。しかし所属先で役割を持ち、何かしらの役に立っていると感じられることは、結局は自分への励みになるものです。所属が多すぎてスケジュールが重なることもありますが、うれしい悲鳴と捉えています。おかげさまで今は毎日が充実し、人生が楽しいですよ。

半澤 秀雄さんの近著 2013 「姓氏小原と半澤よもやま話」自費出版

2014 「東北地方とその周辺地域における小原姓と半澤姓」自費出版

# 地域づくり座談会

## ～ごみ集積所改修事業についての意見交換会～

### ◆各地区独自の取組みについて情報交換◆

平成26年10月8日(水)、槻木生涯学習センターで、各地区の地域づくりの取組みについて意見交換を行う「地域づくり座談会」を開催しました。今回、初めての開催となり、現在各地区で取り組まれているごみ集積所のスチール化をテーマとして取り上げました。座談会には16名の参加があり、活発に意見が交わされました。



### ◆事例紹介 ～試行錯誤しながら～◆

座談会では、冒頭にごみ集積所のスチール化に取り組んでいる5つの地区から事例紹介をいただきました。スチール化をしてみたの効果や改善点、導入するにあたっての費用の捻出方法や今後の計画について情報提供をいただきました。鉄工所で勤務した経験のある地区内の人材を活用することで、導入経費を抑えた事例、強風への対策やごみの搬出入・メンテナンスの工夫についての事例について各地区の特色ある事例が発表されました。

### ◆意見交換 ～導入への課題～◆



スチール製のごみ集積所の導入については、整備費用の問題、設置場所の問題、維持管理の問題など、様々な課題について意見が出されました。例えば、スチール製のごみ集積所を導入しても、ごみのポイ捨て(地区外からの搬入が多い)がなかなか無くならないという難しい課題があるという意見が出されました。また、ごみ出しマナーの問題、特に集合住宅のごみ搬

出・管理をどう改善していけば良いかについては、参加者の皆さんが頭を抱えていました。ごみ集積所の規格については、町でモデルを作って各地区に推奨してはどうかという意見、各地区で実情に合わせて独自に考案し、地区のペースで導入を進めるべきという意見の双方がありました。

### ◆各地区間の情報共有を目指して◆

独自に特色ある活動を行っている地区が多くあります。その例の一つとしてごみ集積所の整備があります。しかし、他の地区で行われている活動について、その具体的な内容や進め方、成果や悩みなどを話し合う機会は多くはありませんでした。

各地域コミュニティの活動は、地域づくりの原動力となる大切なものです。今後も座談会をはじめとして、地区間の情報共有を活発化する取り組みを行い、地域づくり活動の一助となるよう努めていきます。

紅葉がきれいに色づき見頃を迎えているところが多い時期でしょうか。皆さんはもうご覧になりましたか？

10～11月はイベントが多く、町内のあちらこちらで賑わいを見せてくれるので、何となく物悲しい感じも吹き飛んでしまいますね。

秋のお出掛け、是非楽しみたいものです！

ゆる.ぷらスタッフより

#### (お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら  
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00～18:00

<11月の休館日:4日、10日、17日、25日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

